

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮光陵高等学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	普通科と芸術系専門学科を併設する趣旨や特性、校訓を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校の現状や生徒・保護者・地域から寄せられる期待やニーズなどを広く把握・分析し、更に学校の強みを生かした学校像にできると良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確に示されている。4学科1コースを設置する特色ある学校について学校内外の環境分析などを十分に行い、中期的な視点から、更に検討・整理することが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標の達成に向けて必要な目標が評価項目として設定されている。全教職員や学校関係者が参画して学校全体の目標を実現するため、分掌・学科等の組織間の連携を更に強化するなど、学校自己評価システムが十分機能するように工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	アンケート結果から析出した課題について議論し、学年別に再集計して分析し直すなど、要因を見いだそうと取り組んでいる。全体的には方策が前年踏襲型となっているので、達成状況の十分な検証や学校関係者評価を踏まえて次年度の方策の見直しを行うと良い。評価指標については、評価項目の達成度を決定する上で、判断しやすいものとなるよう更に検討することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、課題解決に向けて更に教職員が共通理解を深め、学校全体として一層組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報収集に努めている。生徒の家庭学習時間など、評価項目の達成状況を検証するために必要なデータが得られるようアンケートの内容を工夫し、学校関係者の意見やアンケート結果等を有効に活用して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		